

生産者のみなさまへ

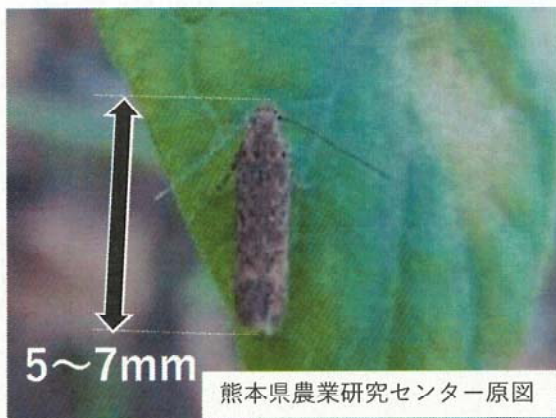
「トマトキバガ」を見かけたらご一報ください

これまで国内での発生が未確認であった「トマトキバガ」が、令和3年10月に熊本県で、12月には宮崎県で、3月には鹿児島県及び福岡県で、4月には長崎県で確認されました。

大分県では、3月18日にフェロモントラップ調査で発生を確認し、24日に特殊報を発表しました。なお、トマト・ピーマン等の作物への加害は確認されておりませんが、引き続き調査を継続してまいりますので、生産者の皆様におかれましても、疑わしい虫や被害植物等見かけましたら、裏面連絡先までご一報いただけますよう、よろしくお願いいたします。

「トマトキバガ」とは

- ・南米原産のチョウ目害虫
- ・近年東アジア地域での発生も確認されている
- ・幼虫が特にナス科植物の葉や果実を食害する
- ・耐寒性・繁殖能力が高いため、侵入後の発生拡大が懸念される



トマトキバガ成虫
(羽を広げると約10mm)



トマトキバガ4 齢幼虫



トマトキバガ幼虫によるトマト果実の食害。タバコガ同様、果実内部に侵入する。



トマトキバガ幼虫によるトマト葉の食害。ハモグリバエ類の様に、葉内を食害する。

発生をすばやく確認するために

県内に誘引トラップを設置しています

県内各地（臼杵市、豊後大野市、竹田市、玖珠町、九重町）でトラップ調査を行っています。発生が確認されたら、振興局を通じてお知らせします。



Q. トラップを付けたせいで
害虫が寄ってくることはないの？



A.

フェロモントラップは、メスのフェロモン様物質によってオス成虫をおびき寄せ、捉えるものです。

誘引されるのはオスの成虫なので、圃場内に入っても卵を産むことはありません。交信かく乱剤として防除資材にも応用されている技術です。

今からできる侵入防止対策

発生時ハウス内への侵入を防ぐために：

防虫ネットの展張・破れ補修

今のうちにお願いします！！

成虫の体長は5～7mmであり、マルハナネットを張っていれば侵入をある程度抑制することができると考えられます。

今のうちに破れやはがれがないか、点検のうえ、しっかり展張して栽培開始をお願いします。

また、黄化葉巻病（TYLCV）対策と同様、周囲に逃げ場を作らないため、除草・野良生えトマト処分の徹底を引き続きお願いします。

【問合せ先】各振興局生産流通部園芸班

大分県東部振興局 (0978-72-1141)

中部振興局 (097-506-5764)

南部振興局 (0972-22-1553)

豊肥振興局 (0974-63-3177)

西部振興局 (0973-23-2217)

北部振興局 (0978-32-1555)